

議案第 8 4 号 岩見沢市病院事業の設置等に関する条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後			
別表第 2（第 7 条関係）				別表第 2（第 7 条関係）			
区分	基準	料金	摘要	区分	基準	料金	摘要
普通診断書	1 通につき	1, 0 0 0 円	普通診断書	普通診断書	1 通につき	2, 0 0 0 円	普通診断書
特別診断書	1 通につき	2, 0 0 0 円	出生届書	特別診断書	1 通につき	2, 0 0 0 円	出生届書
			死亡診断書		1 通につき	3, 0 0 0 円	死亡診断書
			身体障害診断書	特殊診断書	1 通につき	4, 0 0 0 円	身体障害者診断書
特殊診断書	1 通につき	3, 0 0 0 円	恩給診断書		1 通につき	5, 0 0 0 円	障害年金受給用診断書
			厚生年金診断書				各種公的年金診断書
			生命保険明細書				生命保険明細書
			生命保険診断書				生命保険診断書
			自賠責明細書				自賠責明細書
			自賠責診断書				自賠責診断書
	1 通につき	5, 0 0 0 円	死体検案書				死体検案書
その他	1 通につき	1, 0 0 0 円	健康診断書その他上記以外の証明書	その他	1 通につき	2, 0 0 0 円	健康診断書その他上記以外の証明書
略				略			

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 1

現 行	改 正 後
<p>※ 第 1 条関係（岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例）</p> <p>（虐待等の禁止）</p> <p>第 2 5 条 特定教育・保育施設の職員は、教育・保育給付認定子どもに対し、<u>児童福祉法第 3 3 条の 1 0 各号に掲げる行為</u>その他当該教育・保育給付認定子どもの心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>（利用定員）</p> <p>第 3 7 条 特定地域型保育事業（事業所内保育事業を除く。）の利用定員（法第 2 9 条第 1 項の確認において定めるものに限る。以下この章において同じ。）の数は、家庭的保育事業にあつては 1 人以上 5 人以下、小規模保育事業 A 型（家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準（平成 2 6 年厚生労働省令第 6 1 号）第 2 7 条に規定する小規模保育事業 A 型をいう。<u>第 4 2 条第 3 項第 1 号</u>において同じ。）及び小規模保育事業 B 型（同省令第 2 7 条に規定する小規模保育事業 B 型をいう。<u>同号</u>において同じ。）にあつては 6 人以上 1 9 人以下、小規模保育事業 C 型（同条に規定する小規模保育事業 C 型をいう。附則第 4 条において同じ。）にあつては 6 人以上 1 0 人以下、居宅</p>	<p>※ 第 1 条関係（岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例）</p> <p>（虐待等の禁止）</p> <p>第 2 5 条 特定教育・保育施設の職員は、教育・保育給付認定子どもに対し、<u>児童福祉法第 3 3 条の 1 0 第 1 項各号（幼保連携型認定こども園である特定教育・保育施設の職員にあつては、認定こども園法第 2 7 条の 2 第 1 項各号、幼稚園である特定教育・保育施設の職員にあつては、学校教育法第 2 8 条第 2 項において準用する認定こども園法第 2 7 条の 2 第 1 項各号）に掲げる行為</u>その他当該教育・保育給付認定子どもの心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>（利用定員）</p> <p>第 3 7 条 特定地域型保育事業（事業所内保育事業を除く。）の利用定員（法第 2 9 条第 1 項の確認において定めるものに限る。以下この章において同じ。）の数は、家庭的保育事業にあつては 1 人以上 5 人以下、小規模保育事業 A 型（家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準（平成 2 6 年厚生労働省令第 6 1 号）第 2 7 条に規定する小規模保育事業 A 型をいう。<u>第 4 2 条第 3 項</u>において同じ。）及び小規模保育事業 B 型（同省令第 2 7 条に規定する小規模保育事業 B 型をいう。<u>第 4 2 条第 3 項</u>において同じ。）にあつては 6 人以上 1 9 人以下、小規模保育事業 C 型（同条に規定する小規模保育事業 C 型をいう。附則第 4 条において同じ。）にあつては 6 人以上 1 0 人以下、</p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 2

現 行	改 正 後
<p>訪問型保育事業にあつては 1 人とする。</p> <p>2 略</p> <p>(特定教育・保育施設等との連携)</p> <p>第 4 2 条 特定地域型保育事業者(居宅訪問型保育事業を行う者を除く。以下この項から第 5 項までにおいて同じ。)は、特定地域型保育が適正かつ確実に実施され、及び必要な教育・保育が継続的に提供されるよう、次に掲げる事項に係る連携協力を行う認定こども園、幼稚園又は保育所(以下「連携施設」という。)を適切に確保しなければならない。ただし、連携施設の確保が著しく困難であると市が認める地域において特定地域型保育事業を行う特定地域型保育事業者については、この限りでない。</p> <p>(1) 特定地域型保育の提供を受けている満 3 歳未満保育認定子どもに集団保育を体験させるための機会の設定、特定地域型保育の適切な提供に必要な特定地域型保育事業者に対する相談、助言その他の保育の内容に関する支援を行うこと。</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) 当該特定地域型保育事業者により特定地域型保育の提供を受けていた満 3 歳未満保育認定子ども(事業所内保育事業を利用する満 3 歳未満保育認定子どもにあつては、第 3 7 条第 2 項に規定するその他の小学校就学前子どもに限る。以下この号及び第 4 項第 1 号において同じ。)を、当該特定地域型保育の提供の終了に際して、当該満 3 歳未満保育認定子どもに係る教育・保育給付認定保護者の希望に基づき、引き続き当該連携</p>	<p>居宅訪問型保育事業にあつては 1 人とする。</p> <p>2 略</p> <p>(特定教育・保育施設等との連携)</p> <p>第 4 2 条 特定地域型保育事業者(居宅訪問型保育事業を行う者を除く。以下この項から第 7 項までにおいて同じ。)は、特定地域型保育が適正かつ確実に実施され、及び必要な教育・保育が継続的に提供されるよう、次に掲げる事項に係る連携協力を行う認定こども園、幼稚園又は保育所(以下「連携施設」という。)を適切に確保しなければならない。ただし、連携施設の確保が著しく困難であると市が認める地域において特定地域型保育事業を行う特定地域型保育事業者については、この限りでない。</p> <p>(1) 特定地域型保育の提供を受けている満 3 歳未満保育認定子どもに集団保育を体験させるための機会の設定、特定地域型保育の適切な提供に必要な特定地域型保育事業者に対する相談、助言その他の保育の内容に関する支援(次項において「保育内容支援」という。)を実施すること。</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) 当該特定地域型保育事業者により特定地域型保育の提供を受けていた満 3 歳未満保育認定子ども(事業所内保育事業を利用する満 3 歳未満保育認定子どもにあつては、第 3 7 条第 2 項に規定するその他の小学校就学前子どもに限る。以下この号及び第 6 項第 1 号において同じ。)を、当該特定地域型保育の提供の終了に際して、当該満 3 歳未満保育認定子どもに係る教育・保育給付認定保護者の希望に基づき、引き続き当該連携</p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 3

現 行	改 正 後
<p>施設において受け入れて教育・保育を提供すること。</p> <p>2 市長は、特定地域型保育事業者による代替保育の提供に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であって、次に掲げる要件の全てを満たすと認めるときは、前項第 2 号の規定を適用しないこととすることができる。</p> <p>(1) 特定地域型保育事業者と次項に規定する連携協力を行う者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。</p> <p>(2) 次項に規定する連携協力を行う者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。</p> <p>3 前項の場合において、特定地域型保育事業者は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める者を第 1 項第 2 号に掲げる事項に係る連携協力を行う者として適切に確保しなければならない。</p> <p>(1) 当該特定地域型保育事業者が特定地域型保育事業を行う場所又は事業所（次号において「事業実施場所」という。）以外の場所又は事業所において代替保育が提供される場合 小規模保育事業 A 型若しくは小規模保育事業 B 型又は事業所内保育事業を行う者（次号において「小規模保育事業 A 型事業者等」という。）</p> <p>(2) 事業実施場所において代替保育が提供される場合 事業の規模等を</p>	<p>施設において受け入れて教育・保育を提供すること。</p> <p>2 市長は、特定地域型保育事業者による保育内容支援の実施に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であって、次の各号に掲げる要件の全てを満たすと認めるときは、前項第 1 号の規定を適用しないこととすることができる。</p> <p>(1) 特定地域型保育事業者が保育内容支援連携協力者を適切に確保すること。</p> <p>(2) 次のア及びイに掲げる要件を満たすこと。</p> <p>ア 特定地域型保育事業者と保育内容支援連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。</p> <p>イ 保育内容支援連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。</p> <p>3 前項各号の保育内容支援連携協力者とは、小規模保育事業 A 型若しくは小規模保育事業 B 型又は事業所内保育事業を行う者（第 5 項において「小規模保育事業 A 型事業者等」という。）であって、第 1 項第 1 号に掲げる事項に係る連携協力を行うものをいう。</p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 4

現 行	改 正 後
<p><u>勘案して小規模保育事業A型事業者等と同等の能力を有すると市が認める者</u></p>	<p><u>4 市長は、特定地域型保育事業者による代替保育の提供に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であって、次に掲げる要件のいずれかを満たすときは、第1項第2号の規定を適用しないこととすることができる。</u></p> <p><u>(1) 特定地域型保育事業者が代替保育連携協力者を適切に確保した場合には、次のア及びイに掲げる要件を満たすと市長が認めること。</u></p> <p><u>ア 特定地域型保育事業者と代替保育連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。</u></p> <p><u>イ 代替保育連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。</u></p> <p><u>(2) 市長が特定地域型保育事業者による代替保育連携協力者の確保の促進のために必要な措置を講じてもなお当該代替保育連携協力者の確保が著しく困難であること。</u></p> <p><u>5 前項各号の代替保育連携協力者とは、第1項第2号に掲げる事項に係る連携協力を行う者であって、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるものをいう。</u></p> <p><u>(1) 特定地域型保育事業者が特定地域型保育事業を行う場所又は事業所（次号において「事業実施場所」という。）以外の場所又は事業所において代替保育が提供される場合 小規模保育事業A型事業者等</u></p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 5

現 行	改 正 後
<p><u>4 ～ 9</u> 略</p> <p>附 則</p> <p>(連携施設に関する経過措置)</p> <p>第 5 条 特定地域型保育事業者（特例保育所型事業所内保育事業者を除く。）は、連携施設の確保が著しく困難であつて、法第 5 9 条第 4 号に規定する事業による支援その他の必要な適切な支援を行うことができると市が認める場合は、第 4 2 条第 1 項本文の規定にかかわらず、この条例の施行の日から起算して<u>1 0 年</u>を経過する日までの間、連携施設を確保しないことができる。</p>	<p><u>(2) 事業実施場所において代替保育が提供される場合 事業の規模等を勘案して小規模保育事業 A 型事業者等と同等の能力を有すると市が認める者</u></p> <p><u>6 ～ 1 1</u> 略</p> <p>附 則</p> <p>(連携施設に関する経過措置)</p> <p>第 5 条 特定地域型保育事業者（特例保育所型事業所内保育事業者を除く。）は、連携施設の確保が著しく困難であつて、法第 5 9 条第 4 号に規定する事業による支援その他の必要な適切な支援を行うことができると市が認める場合は、第 4 2 条第 1 項本文の規定にかかわらず、この条例の施行の日から起算して<u>1 5 年</u>を経過する日までの間、連携施設を確保しないことができる。</p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 6

現 行	改 正 後
<p>※ 第 2 条関係(岩見沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例)</p> <p>(保育所等との連携)</p> <p>第 6 条 家庭的保育事業者等(居宅訪問型保育事業を行う者(以下「居宅訪問型保育事業者」という。)を除く。以下この条、次条第 1 項、第 7 条の 3 第 2 項、第 1 4 条第 1 項及び第 2 項、第 1 5 条第 1 項、第 2 項及び第 5 項、第 1 6 条並びに第 1 7 条第 1 項から第 3 項まで並びに附則第 3 条において同じ。)は、利用乳幼児に対する保育が適正かつ確実に行われ、及び、家庭的保育事業者等による保育の提供の終了後も満 3 歳以上の児童に対して必要な教育(教育基本法(平成 1 8 年法律第 1 2 0 号)第 6 条第 1 項に規定する法律に定める学校において行われる教育をいう。以下この条において同じ。)又は保育が継続的に提供されるよう、次に掲げる事項に係る連携協力を行う保育所(子ども・子育て支援法(平成 2 4 年法律第 6 5 号)第 7 条第 4 項に規定する保育所をいう。以下同じ。)、幼稚園(同項に規定する幼稚園をいう。以下同じ。)又は認定こども園(同項に規定する認定こども園をいう。以下同じ。)(以下「連携施設」という。)を適切に確保しなければならない。ただし、連携施設の確保が著しく困難であると市が認める地域において家庭的保育事業等(居宅訪問型保育事業を除く。第 1 6 条第 2 項第 3 号において同じ。)を行う家庭的保育事業者等については、この限りでない。</p> <p>(1) 利用乳幼児に集団保育を体験させるための機会の設定、保育の適切な</p>	<p>※ 第 2 条関係(岩見沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例)</p> <p>(保育所等との連携)</p> <p>第 6 条 家庭的保育事業者等(居宅訪問型保育事業を行う者(以下「居宅訪問型保育事業者」という。)を除く。以下この条、次条第 1 項、第 7 条の 3 第 2 項、第 1 4 条第 1 項及び第 2 項、第 1 5 条第 1 項、第 2 項及び第 5 項、第 1 6 条並びに第 1 7 条第 1 項から第 3 項まで並びに附則第 3 条において同じ。)は、利用乳幼児に対する保育が適正かつ確実に行われ、及び、家庭的保育事業者等による保育の提供の終了後も満 3 歳以上の児童に対して必要な教育(教育基本法(平成 1 8 年法律第 1 2 0 号)第 6 条第 1 項に規定する法律に定める学校において行われる教育をいう。以下この条において同じ。)又は保育が継続的に提供されるよう、次に掲げる事項に係る連携協力を行う保育所(子ども・子育て支援法(平成 2 4 年法律第 6 5 号)第 7 条第 4 項に規定する保育所をいう。以下同じ。)、幼稚園(同項に規定する幼稚園をいう。以下同じ。)又は認定こども園(同項に規定する認定こども園をいう。以下同じ。)(以下「連携施設」という。)を適切に確保しなければならない。ただし、連携施設の確保が著しく困難であると市が認める地域において家庭的保育事業等(居宅訪問型保育事業を除く。第 1 6 条第 2 項第 3 号において同じ。)を行う家庭的保育事業者等については、この限りでない。</p> <p>(1) 利用乳幼児に集団保育を体験させるための機会の設定、保育の適切な</p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 7

現 行	改 正 後
<p>提供に必要な家庭的保育事業者等に対する相談、助言その他の保育の内容に関する支援を行うこと。</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) 当該家庭的保育事業者等により保育の提供を受けていた利用乳幼児（事業所内保育事業の利用乳幼児にあつては、第 4 2 条に規定するその他の乳児又は幼児に限る。以下この号及び第 4 項第 1 号において同じ。）を、当該保育の提供の終了に際して、当該利用乳幼児に係る保護者の希望に基づき、引き続き当該連携施設において受け入れて教育又は保育を提供すること。</p> <p><u>2 市長は、家庭的保育事業者等による代替保育の提供に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であつて、次の各号に掲げる要件の全てを満たすと認めるときは、前項第 2 号の規定を適用しないこととすることができる。</u></p> <p><u>(1) 家庭的保育事業者等と次項に規定する連携協力を行う者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。</u></p> <p><u>(2) 次項に規定する連携協力を行う者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。</u></p>	<p>提供に必要な家庭的保育事業者等に対する相談、助言その他の保育の内容に関する支援（次項において「保育内容支援」という。）を実施すること。</p> <p>(2) 略</p> <p>(3) 当該家庭的保育事業者等により保育の提供を受けていた利用乳幼児（事業所内保育事業の利用乳幼児にあつては、第 4 2 条に規定するその他の乳児又は幼児に限る。以下この号及び第 6 項第 1 号において同じ。）を、当該保育の提供の終了に際して、当該利用乳幼児に係る保護者の希望に基づき、引き続き当該連携施設において受け入れて教育又は保育を提供すること。</p> <p><u>2 市長は、家庭的保育事業者等による保育内容支援の実施に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であつて、次の各号に掲げる要件の全てを満たすと認めるときは、前項第 1 号の規定を適用しないこととすることができる。</u></p> <p><u>(1) 家庭的保育事業者等が保育内容支援連携協力者を適切に確保すること。</u></p> <p><u>(2) 次のア及びイに掲げる要件を満たすこと。</u></p> <p><u>ア 家庭的保育事業者等と保育内容支援連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。</u></p> <p><u>イ 保育内容支援連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。</u></p>



議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 8

現 行	改 正 後
<p><u>3 前項の場合において、家庭的保育事業者等は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める者を第 1 項第 2 号に掲げる事項に係る連携協力を行う者として適切に確保しなければならない。</u></p> <p><u>(1) 当該家庭的保育事業者等が家庭的保育事業を行う場所又は事業所（次号において「事業実施場所」という。）以外の場所又は事業所において代替保育が提供される場合 第 2 7 条に規定する小規模保育事業 A 型若しくは小規模保育事業 B 型又は事業所内保育事業を行う者（次号において「小規模保育事業 A 型事業者等」という。）</u></p> <p><u>(2) 事業実施場所において代替保育が提供される場合 事業の規模等を勘案して小規模保育事業 A 型事業者等と同等の能力を有すると市が認める者</u></p>	<p><u>3 前項各号の保育内容支援連携協力者とは、第 2 7 条に規定する小規模保育事業 A 型若しくは小規模保育事業 B 型又は事業所内保育事業を行う者（第 5 項において「小規模保育事業 A 型事業者等」という。）であつて、第 1 項第 1 号に掲げる事項に係る連携協力を行うものをいう。</u></p> <p><u>4 市長は、家庭的保育事業者等による代替保育の提供に係る連携施設の確保が著しく困難であると認める場合であつて、次の各号に掲げる要件のいずれかを満たすときは、第 1 項第 2 号の規定を適用しないこととすることができる。</u></p> <p><u>(1) 家庭的保育事業者等が代替保育連携協力者を適切に確保した場合には、次のア及びイに掲げる要件を満たすと市長が認めること。</u></p> <p><u>ア 家庭的保育事業者等と代替保育連携協力者との間でそれぞれの役割の分担及び責任の所在が明確化されていること。</u></p> <p><u>イ 代替保育連携協力者の本来の業務の遂行に支障が生じないようにするための措置が講じられていること。</u></p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 9

現 行	改 正 後
	<p><u>(2) 市長が家庭的保育事業者等による代替保育連携協力者の確保の促進のために必要な措置を講じてもなお当該代替保育連携協力者の確保が著しく困難であること。</u></p> <p><u>5 前項各号の代替保育連携協力者とは、第 1 項第 2 号に掲げる事項に係る連携協力を行う者であって、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるものをいう。</u></p> <p><u>(1) 家庭的保育事業者等が家庭的保育事業を行う場所又は事業所（次号において「事業実施場所」という。）以外の場所又は事業所において代替保育が提供される場合 小規模保育事業 A 型事業者等</u></p> <p><u>(2) 事業実施場所において代替保育が提供される場合 事業の規模等を勘案して小規模保育事業 A 型事業者等と同等の能力を有すると市が認める者</u></p>
<u>4 及び 5 略</u>	<u>6 及び 7 略</u>
(虐待等の禁止)	(虐待等の禁止)
第 1 2 条 家庭的保育事業者等の職員は、利用乳幼児に対し、 <u>法第 3 3 条の 1 0 各号</u> に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。	第 1 2 条 家庭的保育事業者等の職員は、利用乳幼児に対し、 <u>法第 3 3 条の 1 0 第 1 項各号</u> に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。
(利用乳幼児及び職員の健康診断)	(利用乳幼児及び職員の健康診断)
第 1 7 条 略	第 1 7 条 略
2 家庭的保育事業者等は、前項の規定にかかわらず、 <u>児童相談所等における乳児又は幼児（以下「乳幼児」という。）の利用開始前の健康診断が行われ</u>	2 家庭的保育事業者等は、前項の規定にかかわらず、 <u>次の表の左欄に掲げる健康診断又は健康診査（母子保健法（昭和 4 0 年法律第 1 4 1 号）第 1 2 条</u>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 1 0

現 行	改 正 後				
<p>た場合であって、<u>当該健康診断が利用乳幼児に対する利用開始時の健康診断の全部又は一部に相当すると認められるときは、利用開始時の健康診断の全部又は一部を行わないことができる。</u>この場合において、家庭的保育事業者等は、<u>児童相談所等における乳幼児の利用開始前の健康診断の結果を把握しなければならない。</u></p>	<p>又は第 1 3 条に規定する健康診査をいう。同表において同じ。) (以下この項において「健康診断等」という。) が行われた場合であって、<u>当該健康診断等がそれぞれ同表の右欄に掲げる健康診断の全部又は一部に相当すると認められるときは、同欄に掲げる健康診断の全部又は一部を行わないことができる。</u>この場合において、家庭的保育事業者等は、<u>それぞれ同表の左欄に掲げる健康診断等の結果を把握しなければならない。</u></p> <table border="1"> <tr> <td><u>児童相談所等における乳児又は幼児 (以下「乳幼児」という。) の利用開始前の健康診断</u></td><td><u>利用乳幼児に対する利用開始前の健康診断</u></td></tr> <tr> <td><u>乳幼児に対する健康診査</u></td><td><u>利用乳幼児に対する利用開始時の健康診断、定期の健康診断又は臨時の健康診断</u></td></tr> </table>	<u>児童相談所等における乳児又は幼児 (以下「乳幼児」という。) の利用開始前の健康診断</u>	<u>利用乳幼児に対する利用開始前の健康診断</u>	<u>乳幼児に対する健康診査</u>	<u>利用乳幼児に対する利用開始時の健康診断、定期の健康診断又は臨時の健康診断</u>
<u>児童相談所等における乳児又は幼児 (以下「乳幼児」という。) の利用開始前の健康診断</u>	<u>利用乳幼児に対する利用開始前の健康診断</u>				
<u>乳幼児に対する健康診査</u>	<u>利用乳幼児に対する利用開始時の健康診断、定期の健康診断又は臨時の健康診断</u>				
<p>3 及び 4 略 (職員)</p> <p>第 2 3 条 略</p> <p>2 家庭的保育者 (法第 6 条の 3 第 9 項第 1 号に規定する家庭的保育者をいう。以下同じ。) は、市長が行う研修 (市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。) を修了した<u>保育士</u>であって、次の各号のいずれにも該当するものとする。</p>	<p>3 及び 4 略 (職員)</p> <p>第 2 3 条 略</p> <p>2 家庭的保育者 (法第 6 条の 3 第 9 項第 1 号に規定する家庭的保育者をいう。以下同じ。) は、市長が行う研修 (市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。) を修了した<u>保育士 (法第 1 8 条の 2 7 第 1 項に規定する認定地方公共団体 (以下「認定地方公共団体」という。) の区域内にある家庭的保育事業を行う場所にあつては、保育士又は当該認定地方公共団体の区域に係る法第 1 8 条の 2 9 に規定する地域限定保育士 (以下「地</u></p>				

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 1 1

現 行	改 正 後
<p>(1)～(3) 略</p> <p>3～5 略</p> <p>(職員)</p> <p>第 2 9 条 小規模保育事業所 A 型には、保育士、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する小規模保育事業所 A 型又は第 1 6 条第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する小規模保育事業所 A 型にあつては、調理員を置かないことができる。</p> <p>2 及び 3 略</p> <p>(職員)</p> <p>第 3 1 条 小規模保育事業 B 型を行う事業所（以下「小規模保育事業所 B 型」という。）には、保育士その他保育に従事する職員として市長が行う研修（市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。）を修了した者（次項において「保育従事者」という。）、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する小規模保育事業所 B 型又は第 1 6 条第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する小規模保育事業所 B 型にあつては、調理員を置かないことができる。</p>	<p><u>地域限定保育士」という。))</u>であつて、次の各号のいずれにも該当するものとする。</p> <p>(1)～(3) 略</p> <p>3～5 略</p> <p>(職員)</p> <p>第 2 9 条 小規模保育事業所 A 型には、保育士<u>（認定地方公共団体の区域内にある小規模保育事業所 A 型にあつては、保育士又は当該認定地方公共団体の区域に係る地域限定保育士。次項において同じ。）</u>、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する小規模保育事業所 A 型又は第 1 6 条第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する小規模保育事業所 A 型にあつては、調理員を置かないことができる。</p> <p>2 及び 3 略</p> <p>(職員)</p> <p>第 3 1 条 小規模保育事業 B 型を行う事業所（以下「小規模保育事業所 B 型」という。）には、保育士<u>（認定地方公共団体の区域内にある小規模保育事業所 B 型にあつては、保育士又は当該認定地方公共団体の区域に係る地域限定保育士。次項において同じ。）</u>その他保育に従事する職員として市長が行う研修（市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。）を修了した者（次項において「保育従事者」という。）、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する小規模保育事業所 B 型又は第 1 6 条第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する小規模</p>

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 1 2

現	行	改	正	後
2 及び 3 略	(保育所型事業所内保育事業所の職員)	保育事業所 B 型にあつては、調理員を置かないことができる。	2 及び 3 略	(保育所型事業所内保育事業所の職員)
第 4 4 条	保育所型事業所内保育事業所には、保育士、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する保育所型事業所内保育事業所又は第 1 6 条第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する保育所型事業所内保育事業所にあつては、調理員を置かないことができる。	第 4 4 条	保育所型事業所内保育事業所には、保育士(認定地方公共団体の区域内にある保育所型事業所内保育事業所にあつては、保育士又は当該認定地方公共団体の区域に係る地域限定保育士。次項において同じ。)、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する保育所型事業所内保育事業所又は第 1 6 条第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する保育所型事業所内保育事業所にあつては、調理員を置かないことができる。	
2 及び 3 略	(小規模型事業所内保育事業所の職員)	2 及び 3 略	(小規模型事業所内保育事業所の職員)	
第 4 7 条	事業所内保育事業(利用定員が 1 9 人以下のものに限る。次条において「小規模型事業所内保育事業」という。)を行う事業所(以下この条において「小規模型事業所内保育事業所」という。)には、保育士その他保育に従事する職員として市長が行う研修(市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。)を修了した者(次項において「保育従事者」という。)、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する小規模型事業所内保育事業所又は第 1 6 条第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する小規模型事業所内保育事業所にあつては、調理員を置かないことができる。	第 4 7 条	事業所内保育事業(利用定員が 1 9 人以下のものに限る。次条において「小規模型事業所内保育事業」という。)を行う事業所(以下この条において「小規模型事業所内保育事業所」という。)には、保育士(認定地方公共団体の区域内にある小規模型事業所内保育事業所にあつては、保育士又は当該認定地方公共団体の区域に係る地域限定保育士。次項において同じ。) <u>その他保育に従事する職員として市長が行う研修(市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。)を修了した者(次項において「保育従事者」という。)、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、調理業務の全部を委託する小規模型事業所内保育事業所又は第 1 6 条</u>	

議案第 8 5 号 岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等新旧対照表

No. 1 3

現 行	改 正 後
<p>2 及び 3 略</p> <p>附 則 (連携施設に関する経過措置)</p> <p>第 3 条 家庭的保育事業者等（特例保育所型事業所内保育事業者を除く。）は、連携施設の確保が著しく困難であって、子ども・子育て支援法第 5 9 条第 4 号に規定する事業による支援その他の必要な適切な支援を行うことができると市が認める場合は、第 6 条第 1 項本文の規定にかかわらず、施行日から起算して <u>1 0 年</u>を経過する日までの間、連携施設の確保をしないこととすることができる。</p>	<p>第 1 項の規定により搬入施設から食事を搬入する小規模型事業所内保育事業所にあつては、調理員を置かないことができる。</p> <p>2 及び 3 略</p> <p>附 則 (連携施設に関する経過措置)</p> <p>第 3 条 家庭的保育事業者等（特例保育所型事業所内保育事業者を除く。）は、連携施設の確保が著しく困難であって、子ども・子育て支援法第 5 9 条第 4 号に規定する事業による支援その他の必要な適切な支援を行うことができると市が認める場合は、第 6 条第 1 項本文の規定にかかわらず、施行日から起算して <u>1 5 年</u>を経過する日までの間、連携施設の確保をしないこととすることができる。</p>

議案第 8 6 号 岩見沢市犬の登録等手数料徴収条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後			
(手数料)				(手数料)			
第 2 条 狂犬病予防法（昭和 2 5 年法律第 2 4 7 号。以下「法」という。）及び 狂犬病予防法施行令（昭和 2 8 年政令第 2 3 6 号。以下「令」という。）の規 定による犬の登録等手数料を徴収する事務並びにその手数料の名称、金額及 び徴収の時期は、次の表に定めるところによる。				第 2 条 狂犬病予防法（昭和 2 5 年法律第 2 4 7 号。以下「法」という。）及び 狂犬病予防法施行令（昭和 2 8 年政令第 2 3 6 号。以下「令」という。）の規 定による犬の登録等手数料を徴収する事務並びにその手数料の名称、金額及 び徴収の時期は、次の表に定めるところによる。			
手数料を徴収する事務	手数料			手数料を徴収する事務	手数料		
	名称	金額	徴収の時期		名称	金額	徴収の時期
法第 4 条第 2 項の規定に よる犬の登録	犬の登録手数料	1 件 <u>3, 0 0 0 円</u>	登録申請のと き	法第 4 条第 2 項の規定に よる犬の登録	犬の登録手数料	1 件 <u>3, 6 0 0 円</u>	登録申請のと き
法第 5 条第 2 項の規定に よる狂犬病予防注射済票交 付手数料 の交付	狂犬病予防注射済票交 付手数料	1 件 <u>5 5 0 円</u>	交付のとき	法第 5 条第 2 項の規定に よる狂犬病予防注射済票交 付手数料 の交付	狂犬病予防注射済票交 付手数料	1 件 <u>6 6 0 円</u>	交付のとき
令第 1 条の 2 の規定によ る鑑札の再交付	鑑札再交付手数料	1 件 <u>1, 6 0 0 円</u>	交付申請のと き	令第 1 条の 2 の規定によ る鑑札の再交付	鑑札再交付手数料	1 件 <u>1, 9 2 0 円</u>	交付申請のと き
令第 3 条の規定による狂 犬病予防注射済票の再交 付	狂犬病予防注射済票再 交付手数料	1 件 <u>3 4 0 円</u>	交付申請のと き	令第 3 条の規定による狂 犬病予防注射済票の再交 付	狂犬病予防注射済票再 交付手数料	1 件 <u>4 0 0 円</u>	交付申請のと き

議案第 8 7 号 岩見沢市廃棄物の処理及び清掃に関する条例新旧対照表

No. 1

現 行		改 正 後	
別表第 2（第 1 7 条関係）		別表第 2（第 1 7 条関係）	
処理業等の許可等の区分	手数料の額	処理業等の許可等の区分	手数料の額
法第 7 条第 1 項の一般廃棄物収集運搬業の許可	1 件につき	法第 7 条第 1 項の一般廃棄物収集運搬業の許可	1 件につき
法第 7 条第 2 項の一般廃棄物収集運搬業許可の更新	<u>6, 0 0 0 円</u>	法第 7 条第 2 項の一般廃棄物収集運搬業許可の更新	<u>8, 0 0 0 円</u>
法第 7 条第 6 項の一般廃棄物処分業の許可		法第 7 条第 6 項の一般廃棄物処分業の許可	
法第 7 条第 7 項の一般廃棄物処分業許可の更新		法第 7 条第 7 項の一般廃棄物処分業許可の更新	
法第 7 条の 2 第 1 項の一般廃棄物収集運搬業の変更許可		法第 7 条の 2 第 1 項の一般廃棄物収集運搬業の変更許可	
法第 7 条の 2 第 1 項の一般廃棄物処分業の変更許可		法第 7 条の 2 第 1 項の一般廃棄物処分業の変更許可	
浄化槽法第 3 5 条第 1 項の浄化槽清掃業の許可		浄化槽法第 3 5 条第 1 項の浄化槽清掃業の許可	
処理業等の許可証の再交付	1 件につき <u>3, 0 0 0 円</u>	処理業等の許可証の再交付	1 件につき <u>4, 0 0 0 円</u>



議案第88号 岩見沢市火葬場設置条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後		
別表（第 7 条関係）						
浄安殿						
種別	岩見沢市民		その他			
	死体	死産児	死体	死産児		
使用料	1 5, 0 0 0 円	1, 5 0 0 円	4 0, 0 0 0 円	1, 6 0 0 円		
胞衣又は産わい汚物 1 個 8 0 0 円						
肢体 1 個 8 0 0 円						
種別			使用料			
動物炉		小動物（ペット）		1 0, 0 0 0 円		

別表（第 7 条関係）			
浄安殿			
種別		岩見沢市民	その他
火葬炉		2 0, 0 0 0 円／回	5 3, 0 0 0 円／回
焼却炉	死産児	2, 0 0 0 円／回	5, 3 0 0 円／回
	肢体	2, 0 0 0 円／回	5, 3 0 0 円／回
	胞衣又は産わい物	1, 0 0 0 円／件	2, 6 0 0 円／件
動物炉	小動物（ペット）	1 3, 0 0 0 円／回	
備考 胞衣又は産わい物に適用される岩見沢市民とは、市内に所在する事業所とする。			

議案第89号 岩見沢市緑が丘霊園条例等新旧対照表

No. 1

現 行	改 正 後
<p>※ 第1条関係（岩見沢市緑が丘霊園条例）</p> <p>（用語の定義）</p> <p>第3条 この条例で次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>（1） 略</p> <p>（2） 墳墓とは、<u>霊葬場所及び埋葬場所</u>において焼骨<u>及び死体</u>を埋蔵する施設をいう。</p> <p>（3） 略</p> <p>（使用者の制限）</p> <p>第7条 <u>霊葬場所、埋葬場所、納骨塚及び納骨堂</u>には、第4条の規定により許可を受けた者（以下「使用権者」という。）の親族でない者を埋蔵<u>及び収蔵</u>することはできない。ただし、特別の事情があるときは、この限りではない。</p> <p>（使用場所の制限）</p> <p>第13条 <u>霊葬場所及び埋葬場所</u>の使用は、使用権者1人につき1区画とする。ただし、市長が墳墓の施工上やむを得ないと認めた場合には、2区画まで使用を許可することができる。</p> <p>2 略</p> <p><u>3 納骨堂の使用は、使用権者1人につき1壇とする。</u></p> <p>（使用料）</p> <p>第14条 霊園を使用する者は、次の各号により使用料を納付しなければなら</p>	<p>※ 第1条関係（岩見沢市緑が丘霊園条例）</p> <p>（用語の定義）</p> <p>第3条 この条例で次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>（1） 略</p> <p>（2） 墳墓とは、<u>霊葬場所</u>において焼骨を埋蔵する施設をいう。</p> <p>（3） 略</p> <p>（使用者の制限）</p> <p>第7条 <u>霊葬場所及び納骨塚</u>には、第4条の規定により許可を受けた者（以下「使用権者」という。）の親族でない者を埋蔵することはできない。ただし、特別の事情があるときは、この限りではない。</p> <p>（使用場所の制限）</p> <p>第13条 霊葬場所の使用は、使用権者1人につき1区画とする。ただし、市長が墳墓の施工上やむを得ないと認めた場合には、2区画まで使用を許可することができる。</p> <p>2 略</p> <p>（使用料）</p> <p>第14条 霊園を使用する者は、次の各号により使用料を納付しなければなら</p>

議案第 8 9 号 岩見沢市緑が丘霊園条例等新旧対照表

No. 2

現 行	改 正 後
<p>ない。</p> <p>(1) 霊葬場所及び埋葬場所の使用料は、別表第 1 のとおりとする。</p> <p>(2) 及び(3) 略</p> <p>2 略</p> <p>(管理料)</p> <p>第 1 6 条 霊葬場所及び埋葬場所の使用権者は、清掃その他霊園の維持管理に要する経費として別表第 2 に定める管理料を納付しなければならない。</p> <p>2 略</p> <p>(使用料及び管理料の還付)</p> <p>第 1 7 条 既納の使用料及び管理料は、還付しない。<u>ただし、霊葬場所及び埋葬場所の使用権者が許可を受けた後 2 年以内にその場所の全部を返還したときは、既納の使用料の半額を還付する。</u></p> <p>(許可証の交付及び再交付手数料)</p> <p>第 1 8 条 霊葬場所、埋葬場所、納骨塚及び納骨堂の使用権者には許可証を交付する。</p> <p>2 霊葬場所及び埋葬場所の承継使用者は、使用許可証の書替えを受けなければならない。</p>	<p>ない。</p> <p>(1) 霊葬場所の使用料は、別表第 1 のとおりとする。</p> <p>(2) 及び(3) 略</p> <p>2 略</p> <p>(管理料)</p> <p>第 1 6 条 霊葬場所の使用権者は、清掃その他霊園の維持管理に要する経費として別表第 2 に定める管理料を納付しなければならない。</p> <p>2 略</p> <p>(使用料及び管理料の還付)</p> <p>第 1 7 条 既納の使用料及び管理料は、還付しない。<u>ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、それぞれ当該各号に定める割合の使用料を還付することができる。</u></p> <p><u>(1) 使用権者の責めに帰することができない理由により使用不能となったとき 1 0 割</u></p> <p><u>(2) 霊葬場所の使用権者が許可を受けた後 2 年以内にその場所の全部を返還したとき 5 割</u></p> <p>(許可証の交付及び再交付手数料)</p> <p>第 1 8 条 霊葬場所及び納骨塚の使用権者には許可証を交付する。</p> <p>2 霊葬場所の使用権者及び承継使用者は、<u>使用許可証の記載事項に変更があった場合は、使用許可証の書替えを受けなければならない。</u></p>

議案第 8 9 号 岩見沢市緑が丘霊園条例等新旧対照表

No.3

現 行			改 正 後		
3 使用許可証を書き替えるときは、1 件につき <u>1 0 0 円</u> の手数料を徴収する。			3 使用許可証を書き替えるときは、1 件につき <u>1 5 0 円</u> の手数料を徴収する。		
別表第 2（第 1 6 条関係）			別表第 2（第 1 6 条関係）		
区分	面積	管理料 (1 区画当たり)	区分	面積	管理料 (1 区画当たり)
平成 2 4 年度以前に造成した区画	4 平方メートル	<u>4 6, 2 0 0 円</u>	平成 2 4 年度以前に造成した区画	4 平方メートル	<u>5 5, 4 0 0 円</u>
	6 平方メートル	<u>6 9, 3 0 0 円</u>		6 平方メートル	<u>8 3, 1 0 0 円</u>
平成 2 5 年度以後に造成した区画	4 平方メートル	<u>5 8, 6 0 0 円</u>	平成 2 5 年度以後に造成した区画	4 平方メートル	<u>7 0, 3 0 0 円</u>
	6 平方メートル	<u>8 7, 9 0 0 円</u>		6 平方メートル	<u>1 0 5, 4 0 0 円</u>

議案第 8 9 号 岩見沢市緑が丘霊園条例等新旧対照表

No. 4

現 行	改 正 後
<p>※ 第 2 条関係（岩見沢市緑が丘霊園条例の一部を改正する条例）</p> <p>附 則</p> <p>1 ～ 5 略</p> <p>6 前項の適用を受ける者が納付すべき管理料は、毎年度使用面積 1 平方メートルにつき <u>2 3 1 円</u>とする。</p> <p>7 略</p>	<p>※ 第 2 条関係（岩見沢市緑が丘霊園条例の一部を改正する条例）</p> <p>附 則</p> <p>1 ～ 5 略</p> <p>6 前項の適用を受ける者が納付すべき管理料は、毎年度使用面積 1 平方メートルにつき <u>2 7 7 円</u>とする。</p> <p>7 略</p>

議案第 90 号 岩見沢市墓地使用条例新旧対照表

No. 1

現	行	改	正	後
第 5 条 略		第 5 条 略 <u>(許可証の交付及び再交付手数料)</u> 第 5 条の 2 墓地の使用者には使用許可証を交付する。 2 使用者及び承継使用者は、使用許可証の記載事項に変更があった場合は、 <u>使用許可証の書替えを受けなければならない。</u> 3 <u>使用許可証を書き替えるときは、1 件につき 1 5 0 円の手数料を徴収する。</u>		
第 6 条 略		第 6 条 略		

議案第 9 1 号 岩見沢市コミュニティセンター条例新旧対照表

No. 1

現 行	改 正 後														
<p>※ 第 1 条関係（岩見沢市コミュニティセンター条例）</p> <p>（名称及び位置）</p> <p>第 2 条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table> <tr> <th>名称</th><th>位置</th></tr> <tr> <td colspan="2">略</td></tr> <tr> <td>幌向総合コミュニティセンター</td><td>岩見沢市幌向南 1 条 1 丁目 7 0 番地 5</td></tr> </table> <p>（開館時間等）</p> <p>第 3 条 <u>センターの開館時間は、午前 9 時から午後 9 時までとする。ただし、市長が必要と認めるときは、変更することができる。</u></p> <p><u>2 センターに定まった休館日は設けないものとする。ただし、市長が必要と認めるときは、臨時に休館することができる。</u></p> <p>（指定管理者）</p> <p>第 1 4 条 市長は、センターの管理運営を岩見沢市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成 1 7 年条例第 8 号）第 5 条第 1 項の規定に</p>	名称	位置	略		幌向総合コミュニティセンター	岩見沢市幌向南 1 条 1 丁目 7 0 番地 5	<p>※ 第 1 条関係（岩見沢市コミュニティセンター条例）</p> <p>（名称及び位置）</p> <p>第 2 条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table> <tr> <th>名称</th><th>位置</th></tr> <tr> <td colspan="2">略</td></tr> <tr> <td>幌向総合コミュニティセンター</td><td>岩見沢市幌向南 1 条 1 丁目 7 0 番地 5</td></tr> <tr> <td>上幌向地区多目的研修会館</td><td>岩見沢市上幌向北 1 条 4 丁目 7 5 4 番地 3</td></tr> </table> <p>（開館時間等）</p> <p>第 3 条 <u>センターの開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、第 1 4 条第 1 項の規定により市の指定を受けた団体（以下「指定管理者」という。）が必要と認めるときは、開館時間の延長若しくは短縮又は休館日以外の休館若しくは休館日における開館をすることができる。</u></p> <p><u>(1) 開館時間 午前 9 時から午後 9 時まで</u></p> <p><u>(2) 休館日 1 2 月 2 9 日から翌年 1 月 3 日までの日</u></p> <p>（指定管理者）</p> <p>第 1 4 条 市長は、センターの管理運営を岩見沢市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成 1 7 年条例第 8 号）第 5 条第 1 項の規定に</p>	名称	位置	略		幌向総合コミュニティセンター	岩見沢市幌向南 1 条 1 丁目 7 0 番地 5	上幌向地区多目的研修会館	岩見沢市上幌向北 1 条 4 丁目 7 5 4 番地 3
名称	位置														
略															
幌向総合コミュニティセンター	岩見沢市幌向南 1 条 1 丁目 7 0 番地 5														
名称	位置														
略															
幌向総合コミュニティセンター	岩見沢市幌向南 1 条 1 丁目 7 0 番地 5														
上幌向地区多目的研修会館	岩見沢市上幌向北 1 条 4 丁目 7 5 4 番地 3														

議案第 9 1 号 岩見沢市コミュニティセンター条例新旧対照表

No. 2

現 行			改 正 後		
より指定を受けた団体（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。			より指定を受けた団体に行わせることができる。		
2 略			2 略		
別表（第 6 条、第 1 6 条関係）			別表（第 6 条、第 1 6 条関係）		
種別	単位	使用料	種別	単位	使用料
研修室（和室）	1 時間	3 0 0 円	研修室	1 時間	5 0 0 円
集会室（洋室）	1 時間	1, 0 3 0 円	集会室	1 時間	1, 5 0 0 円
交流室（洋室）	1 時間	3 0 0 円	交流室	1 時間	5 0 0 円
調理実習室（ちゅう房）	1 時間	7 3 0 円	調理実習室（ちゅう房）	1 時間	8 0 0 円
多目的ホール	1 時間	1, 0 3 0 円	多目的ホール	1 時間	1, 5 0 0 円
ステージ	1 時間	5 1 0 円			
アリーナ（全面）	1 時間	8 3 0 円	アリーナ（全面）	1 時間	1, 6 0 0 円
アリーナ（片面）	1 時間	5 1 0 円	アリーナ（片面）	1 時間	1, 0 0 0 円
格技室	1 時間	5 1 0 円	格技室	1 時間	1, 0 0 0 円
全館等	2 日	5 2, 3 7 0 円	小会議室	1 時間	4 0 0 円
			ミーティングルーム	1 時間	5 0 0 円
			ロビーホール	1 時間	5 0 0 円
			全館等	2 日	8 0, 0 0 0 円
備考			備考		
1 略			1 略		



議案第 9 1 号 岩見沢市コミュニティセンター条例新旧対照表

No. 3

現 行	改 正 後
<p>2 <u>各室の使用料については、冬期間の暖房に係る割増料金を徴収することができる。</u></p> <p>3 略</p>	<p>2 <u>10月1日から翌年4月30日までの間は、当該使用料に冬期加算料(当該基本料金の8割に相当する額)を加えた額を使用料とする。</u></p> <p>3 略</p>

議案第 9 1 号 岩見沢市コミュニティセンター条例新旧対照表

No. 4

現 行			改 正 後		
※ 第 2 条関係（岩見沢市コミュニティセンター条例）			※ 第 2 条関係（岩見沢市コミュニティセンター条例）		
別表（第 6 条、第 1 6 条関係）			別表（第 6 条、第 1 6 条関係）		
種別	単位	使用料	種別	単位	使用料
略			略		
アリーナ（全面）	1 時間	<u>1, 6 0 0 円</u>	アリーナ（全面）	1 時間	<u>2, 4 0 0 円</u>
アリーナ（片面）	1 時間	<u>1, 0 0 0 円</u>	アリーナ（片面）	1 時間	<u>1, 2 0 0 円</u>
格技室	1 時間	<u>1, 0 0 0 円</u>	格技室	1 時間	<u>1, 2 0 0 円</u>
略			略		
備考 略			備考 略		

議案第 9 2 号 岩見沢市栗沢市民センター条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後			
別表（第 5 条、第 7 条、第 1 9 条関係）				別表（第 5 条、第 7 条、第 1 9 条関係）			
室区分	使用料及び時間区分			室区分	使用料及び時間区分		
	午前	午後	夜間		午前	午後	夜間
	午前 9 時～ 午後 1 時	午後 1 時～ 午後 5 時	午後 5 時～ 午後 9 時		午前 9 時～ 午後 1 時	午後 1 時～ 午後 5 時	午後 5 時～ 午後 9 時
会議室 1	<u>1,320 円</u>	<u>1,320 円</u>	<u>1,320 円</u>	会議室 1	<u>1,980 円</u>	<u>1,980 円</u>	<u>1,980 円</u>
会議室 2	<u>2,000 円</u>	<u>2,000 円</u>	<u>2,000 円</u>	会議室 2	<u>3,000 円</u>	<u>3,000 円</u>	<u>3,000 円</u>
市民活動室 1	<u>1,000 円</u>	<u>1,000 円</u>	<u>1,000 円</u>	市民活動室 1	<u>1,500 円</u>	<u>1,500 円</u>	<u>1,500 円</u>
市民活動室 2	<u>1,000 円</u>	<u>1,000 円</u>	<u>1,000 円</u>	市民活動室 2	<u>1,500 円</u>	<u>1,500 円</u>	<u>1,500 円</u>
市民活動室 3	<u>1,120 円</u>	<u>1,120 円</u>	<u>1,120 円</u>	市民活動室 3	<u>1,680 円</u>	<u>1,680 円</u>	<u>1,680 円</u>
和室 1	<u>800 円</u>	<u>800 円</u>	<u>800 円</u>	和室 1	<u>1,200 円</u>	<u>1,200 円</u>	<u>1,200 円</u>
和室 2	<u>760 円</u>	<u>760 円</u>	<u>760 円</u>	和室 2	<u>1,140 円</u>	<u>1,140 円</u>	<u>1,140 円</u>
調理室	<u>1,320 円</u>	<u>1,320 円</u>	<u>1,320 円</u>	調理室	<u>1,980 円</u>	<u>1,980 円</u>	<u>1,980 円</u>
大ホール	<u>4,400 円</u>	<u>4,400 円</u>	<u>4,400 円</u>	大ホール	<u>6,600 円</u>	<u>6,600 円</u>	<u>6,600 円</u>
全室	<u>13,720 円</u>	<u>13,720 円</u>	<u>13,720 円</u>	全室	<u>20,580 円</u>	<u>20,580 円</u>	<u>20,580 円</u>
備考 略				備考 略			

議案第 9 3 号 岩見沢市美流渡コミュニティセンター条例新旧対照表

No. 1

現 行						改 正 後							
別表（第6条、第16条関係）						別表（第6条、第16条関係）							
室区分	使用料（1回につき）				暖房料	備考	室区分	使用料（1回につき）				暖房料	備考
	午前	午後	夜間	深夜				午前	午後	夜間	深夜		
老人・婦人室1	200円	200円	300円	510円	使用料の3割		老人・婦人室1	300円	300円	450円	760円	使用料の3割	
老人・婦人室2	200円	200円	300円	510円	〃		老人・婦人室2	300円	300円	450円	760円	〃	
老人・婦人室3	200円	200円	300円	510円	〃		老人・婦人室3	300円	300円	450円	760円	〃	
会議室1	200円	200円	300円	510円	〃		会議室1	300円	300円	450円	760円	〃	
会議室2	410円	410円	620円	1,150円	〃		会議室2	610円	610円	930円	1,720円	〃	
会議室3	200円	200円	300円	510円	〃		会議室3	300円	300円	450円	760円	〃	
調理室	200円	200円	300円	510円	〃		調理室	300円	300円	450円	760円	〃	
大広間	1,250円	1,250円	1,460円	2,930円	〃	ステージを含む。	大広間	1,870円	1,870円	2,190円	4,390円	〃	ステージを含む。
集会室	510円	510円	830円	1,560円	〃		集会室	760円	760円	1,240円	2,340円	〃	
和室1号	200円	200円	300円	510円	〃		和室1号	300円	300円	450円	760円	〃	
和室2号	200円	200円	300円	510円	〃		和室2号	300円	300円	450円	760円	〃	
全室	3,770円	3,770円	5,310円	9,720円	〃		全室	5,640円	5,640円	7,960円	14,530円	〃	
備考						備考							

議案第 9 3 号 岩見沢市美流渡コミュニティセンター条例新旧対照表

No. 2

現 行	改 正 後
<p>1 及び 2 略</p> <p><u>3</u> 臨時電灯又は電力の使用料金等、通常の使用以外に特に要した費用は、実費を徴収する。</p> <p><u>4</u> 入場料を徴収する場合及び営利を目的とする催物又はこれに類するものの並びに冠婚葬祭の使用については、上記金額の 1 0 割の額を加算する。</p>	<p>1 及び 2 略</p> <p><u>3</u> 別表及び前項の規定により算出して得た額に 1 0 円未満の端数がある場合は、これを切り捨てた額とする。</p> <p><u>4</u> 臨時電灯又は電力の使用料金等、通常の使用以外に特に要した費用は、実費を徴収する。</p> <p><u>5</u> 入場料を徴収する場合及び営利を目的とする催物又はこれに類するものの並びに冠婚葬祭の使用については、上記金額の 1 0 割の額を加算する。</p>

議案第94号 岩見沢市地区集会所条例新旧対照表

No. 1

現		改		正		後	
別表第 1 （第 2 条関係）				別表第 1 （第 2 条関係）			
名称		位置		名称		位置	
略				略			
万字地区集会所		岩見沢市栗沢町万字英町 1 番地 2		万字地区集会所		岩見沢市栗沢町万字英町 1 番地 2	
宮村地区集会所		岩見沢市栗沢町宮村 5 6 6 番地					
弥生ヶ丘地区集会所		岩見沢市栗沢町最上 2 9 8 番地 1 7					
最上北栄地区集会所		岩見沢市栗沢町最上 2 番地 4 5		最上北栄地区集会所		岩見沢市栗沢町最上 2 番地 4 5	
略				略			
別表第 2 （第 6 条、第 1 6 条関係）				別表第 2 （第 6 条、第 1 6 条関係）			
室別		単位	使用料	室別		単位	使用料
和室		1 時間	3 0 0 円	和室		1 時間	5 0 0 円
洋室		1 時間	4 1 0 円	洋室		1 時間	6 0 0 円
講堂等		1 時間	7 3 0 円	講堂等		1 時間	1, 1 0 0 円
調理室、台所及び生活実習室		1 時間	2 0 0 円	調理室、台所及び生活実習室		1 時間	3 0 0 円
体育館（全面）		1 時間	8 3 0 円	体育館（全面）		1 時間	1, 2 0 0 円
体育館（片面）		1 時間	6 2 0 円	体育館（片面）		1 時間	9 0 0 円
全館等		1 日	2 6, 1 8 0 円	全館等		1 日	3 9, 2 0 0 円

議案第 9 4 号 岩見沢市地区集会所条例新旧対照表

No. 2

現 行	改 正 後
<p>備考</p> <p>1 及び 2 略</p> <p><u>3</u> 調理室、台所及び生活実習室のガス使用料については、実費を徴収することができる。</p> <p><u>4</u> 講堂等は、上幌地区集会所及び茂世丑地区集会所の講堂、万字地区集会所の大広間、由良地区集会所の大ホール、必成地区集会所の大会議室、<u>豊正地区自治会館の会議室</u>、豊里地区自治会館の会議室 1、中央地区自治会館の会議室 1 及び会議室 2 を併せて使用する場合、美唄達布地区自治会館の会議室 1 及び会議室 2 を併せて使用する場合、幌達布地区自治会館の大会議室、砂浜地区自治会館の集会場、又は東地区自治会館の大会議室及び小会議室を併せて使用する場合をいう。</p>	<p>備考</p> <p>1 及び 2 略</p> <p><u>3 別表第 2 及び前 2 項の規定により算出して得た額に 1 0 円未満の端数がある場合は、これを切り捨てた額を使用料とする。</u></p> <p><u>4</u> 調理室、台所及び生活実習室のガス使用料については、実費を徴収することができる。</p> <p><u>5</u> 講堂等は、上幌地区集会所及び茂世丑地区集会所の講堂、万字地区集会所の大広間、由良地区集会所の大ホール、必成地区集会所の大会議室、<u>豊正地区自治会館のホール</u>、豊里地区自治会館の会議室 1、中央地区自治会館の会議室 1 及び会議室 2 を併せて使用する場合、美唄達布地区自治会館の会議室 1 及び会議室 2 を併せて使用する場合、幌達布地区自治会館の大会議室、砂浜地区自治会館の集会場、又は東地区自治会館の大会議室及び小会議室を併せて使用する場合をいう。</p>

議案第 95 号 岩見沢市コミュニティプラザ条例新旧対照表

No. 1

現 行					改 正 後					
別表（第7条、第19条関係） 使用料					別表（第7条、第19条関係） 使用料					
種別	区分	一般使用		営利又は営業目的の使用		種別	区分	一般使用		営利又は営業目的の使用
		1時間につき	1日につき	1時間につき	1日につき			1時間につき		
								市民	市民以外	
多目的ホールA		1, 4 4 0円	1 7, 4 0 0円	2, 9 0 0円	3 4, 8 1 0円	多目的ホールA		2, 5 5 0円	3, 2 0 0円	一般使用（市民以外）の金額の10割増しとする。
多目的ホールB		6 7 0円	8, 0 0 0円	1, 3 5 0円	1 6, 0 2 0円	多目的ホールB		1, 1 5 0円	1, 4 5 0円	
多目的ホールC		6 3 0円	7, 5 7 0円	1, 2 7 0円	1 5, 1 6 0円	多目的ホールC		1, 1 0 0円	1, 4 0 0円	
会議室A		4 3 0円	5, 2 2 0円	8 7 0円	1 0, 4 5 0円	会議室A		7 5 0円	9 5 0円	
会議室B		6 6 0円	7, 8 9 0円	1, 3 3 0円	1 5, 7 9 0円	会議室B		1, 1 5 0円	1, 4 5 0円	
備考					備考					
1 1日とは、午前9時から午後9時までをいう。					1 1時間未満は、1時間として計算する。なお、準備時間及び整理時間は、使用時間に含める。					
2 1時間未満は、1時間として計算する。なお、準備時間及び整理時間は、使用時間に含める。					2 許可された使用時間を超えて引き続き使用する場合は、運営に支障がないと認める場合に限り、閉館時間を超えない範囲で使用時間の延長を許可することができる。この場合の使用料は、各区分の使用料とする。					
3 許可された使用時間を超えて引き続き使用する場合は、運営に支障がないと認める場合に限り、閉館時間を超えない範囲で使用時間の延長を許可することができる。この場合の使用料は、各区分の使用料とする。					3 冬期加算料は、11月1日から翌年4月30日までとし、この場合の加算料は一般使用料の8割とする。ただし、期間外においても暖房を使用する場合は、加算料を徴収する。					
4 冬期加算額は、11月1日から翌年4月30日までとし、この場合の加算料は一般使用料の8割とする。ただし、期間外においても暖房を使用する場合は、加算額を徴収する。					4 その他の施設の使用料は、岩見沢市公有財産規則（昭和44年規則第					
5 その他の施設の利用料は、岩見沢市公有財産規則（昭和44年規則第										



議案第 9 5 号 岩見沢市コミュニティプラザ条例新旧対照表

No. 2

現 行	改 正 後
1 0 号) の規定を適用する。	1 0 号) の規定を適用する。

議案第 9 6 号 岩見沢市有明交流プラザ条例新旧対照表

No. 1

現 行			改 正 後		
別表（第5条、第7条、第19条関係） 使用料			別表（第5条、第7条、第19条関係） 使用料		
区分	1日につき	半日につき	区分	1日につき	半日につき
センターホール	<u>2, 8 1 0 円</u>	<u>1, 4 0 0 円</u>	センターホール	<u>5, 6 0 0 円</u>	<u>2, 8 0 0 円</u>
市民ギャラリーA	<u>2, 3 0 0 円</u>	<u>1, 1 5 0 円</u>	市民ギャラリーA	<u>4, 6 0 0 円</u>	<u>2, 3 0 0 円</u>
市民ギャラリーB	<u>1, 4 6 0 円</u>	<u>7 3 0 円</u>	市民ギャラリーB	<u>2, 9 2 0 円</u>	<u>1, 4 6 0 円</u>
備考 略			備考 略		

議案第 97 号 岩見沢市あそびの広場条例新旧対照表

No. 1

現 行		改 正 後		
別表（第8条、第20条関係）		別表（第8条、第20条関係）		
区分	使用料	区分	使用料	
			市民	市民以外
個人使用の場合	100円	個人使用の場合	100円	<u>300円</u>
団体使用の場合 （1人当たり）	90円	団体使用の場合 （1人当たり）	90円	<u>270円</u>
備考 略		備考 略		

議 案 第 9 8 号 岩 見 沢 市 手 数 料 条 例 新 旧 対 照 表

No. 1

現 行			改 正 後		
(手数料の減免)			(手数料の減免)		
第5条 次の各号のいずれかに該当するものは、手数料の全部又は一部を免除することができる。			第5条 次の各号のいずれかに該当するものは、手数料の全部又は一部を免除することができる。		
(1)～(3) 略			(1)～(3) 略		
			2 前項の規定は、 <u>地方公共団体情報システム機構の電子計算機を経由して本市の電子計算機と電気通信回路で接続された通信端末機であって、利用者自らが必要な操作を行うことにより交付する機能を有するもの（以下「多機能端末機」という。）による申請には、適用しない。</u>		
別表（第2条関係）			別表（第2条関係）		
番号	手数料を徴収する事項	手数料の金額	番号	手数料を徴収する事項	手数料の金額
戸籍、住民基本台帳関係等手数料			戸籍、住民基本台帳関係等手数料		
略			略		
2	住民基本台帳関係手数料		2	住民基本台帳関係手数料	
	(1) 住民票（広域交付の場合を含む。）及び除票の写しの交付	1件につき <u>300円</u>		(1) 住民票（広域交付の場合を含む。）及び除票の写しの交付	1件につき <u>400円</u> (多機能端末機による交付の場合にあっては、 <u>300円</u> )
	(2) 戸籍の附票及び除籍の附票の写しの交付	1件につき <u>300円</u>		(2) 戸籍の附票及び除籍の附票の写しの交付	1件につき <u>400円</u>
	(3) 住民基本台帳記載事項証明書の交付	1件につき <u>300円</u>		(3) 住民基本台帳記載事項証明書の交付	1件につき <u>400円</u>
	(4) 住民基本台帳の閲覧	1件につき <u>300円</u>		(4) 住民基本台帳の閲覧	1件につき <u>400円</u>

議 案 第 9 8 号 岩 見 沢 市 手 数 料 条 例 新 旧 対 照 表

No. 2

現 行			改 正 後		
3	印鑑登録関係手数料		3	印鑑登録関係手数料	
	(1) 印鑑登録証明書の交付	1 件につき <u>4 0 0 円</u>		(1) 印鑑登録証明書の交付	1 件につき <u>5 0 0 円</u> (多機能端末機による 交付の場合にあって は、 <u>4 0 0 円</u> )
	(2) 印鑑登録証の再交付	1 件につき <u>3 0 0 円</u>		(2) 印鑑登録証の再交付	1 件につき <u>4 0 0 円</u>
略			略		
証明手数料			証明手数料		
1	公課に関する証明		1	公課に関する証明	
	(1) 課税証明（年度別、税目別）	1 件につき <u>3 0 0 円</u>		(1) 課税証明（年度別、税目別）	1 件につき <u>4 0 0 円</u>
	(2) 納税証明（年度別、税目別）	1 件につき <u>3 0 0 円</u> ただし、軽自動車税 を除く。		(2) 納税証明（年度別、税目別）	1 件につき <u>4 0 0 円</u> ただし、軽自動車税 を除く。
略			略		
4	土地建物の評価に関する証明（年度別。建物は1棟 をもって1筆とみなす。）	1 筆につき <u>3 0 0 円</u>	4	土地建物の評価に関する証明（年度別。建物は1棟 をもって1筆とみなす。）	1 筆につき <u>4 0 0 円</u>
5	所得に関する証明（年度別）	1 件につき <u>3 0 0 円</u>	5	所得に関する証明（年度別）	1 件につき <u>4 0 0 円</u>
略			略		
7	その他の証明	1 件につき <u>3 0 0 円</u>	7	その他の証明	1 件につき <u>4 0 0 円</u>
略			略		
農業委員会所掌事務についての手数料			農業委員会所掌事務についての手数料		

議 案 第 9 8 号 岩 見 沢 市 手 数 料 条 例 新 旧 対 照 表

No. 3

現 行			改 正 後		
1	証明書交付手数料	1 証明につき 3 0 0 円	1	証明書交付手数料	1 証明につき 4 0 0 円
2	現地目証明手数料		2	現地目証明手数料	
	(1) 現地調査を要するもの	1 件につき 2, 4 0 0 円		(1) 現地調査を要するもの	1 件につき 3, 0 0 0 円
	(2) 現地調査を要しないもの	1 件につき 1, 0 0 0 円		(2) 現地調査を要しないもの	1 件につき 1, 2 0 0 円
3	嘱託登記手数料		3	嘱託登記手数料	
	(1) 保存・移転登記手数料	1 件につき 3, 3 0 0 円 1 筆増すごとに 3 3 0 円加算		(1) 保存・移転登記手数料	1 件につき 4, 0 0 0 円 1 筆増すごとに 4 0 0 円加算
	(2) 表示・地目変更登記手数料（相続・分割・合筆等を除く。）	1 件につき 1, 6 5 0 円 1 筆増すごとに 3 3 0 円加算		(2) 表示・地目変更登記手数料（相続・分割・合筆等を除く。）	1 件につき 2, 0 0 0 円 1 筆増すごとに 4 0 0 円加算
閲覧手数料			閲覧手数料		
略			略		
2	その他の閲覧	1 閲覧物件につき 3 0 0 円	2	その他の閲覧	1 閲覧物件につき 4 0 0 円
一類感染症等患者消毒の手数料					

議 案 第 9 8 号 岩 見 沢 市 手 数 料 条 例 新 旧 対 照 表

No. 4

現 行			改 正 後			
1	(1) 延床面積 82.5平方メートル以内	200円				
	(2) 延床面積 165平方メートル以内	300円				
	(3) 延床面積 330平方メートル以内	500円				
	延床面積330平方メートルを超える66平方メートルごとに100円					
	を加算する。					
鳥獣飼養登録関係手数料			鳥獣飼養登録関係手数料			
1	(1) 鳥獣飼養登録手数料	1件につき 3,400円	1	(1) 鳥獣飼養登録手数料	1件につき 4,000円	
	(2) 鳥獣飼養登録更新手数料	1件につき 3,400円			(2) 鳥獣飼養登録更新手数料	1件につき 4,000円
	(3) 鳥獣飼養登録票再交付手数料	1件につき 3,400円				(3) 鳥獣飼養登録票再交付手数料
略			略			

議案第 99 号 岩見沢市多目的研修集会施設等条例新旧対照表

No. 1

現		改	
行		正	
後			
(名称及び位置)		(名称及び位置)	
第 2 条 研修集会施設の名称及び位置は、次のとおりとする。		第 2 条 研修集会施設の名称及び位置は、次のとおりとする。	
名称	位置	名称	位置
略		略	
岩峰地区農地流動化センター	岩見沢市峰延町 3 3 0 番地 3	岩峰地区農地流動化センター	岩見沢市峰延町 3 3 0 番地 3
上幌向地区多目的研修会館	岩見沢市上幌向北 1 条 4 丁目 7 5 4 番地 3	幌向川右岸地区多目的研修会館	岩見沢市金子町 1 7 0 番地 2
幌向川右岸地区多目的研修会館	岩見沢市金子町 1 7 0 番地 2		
大願地区多目的研修会館	岩見沢市大願町 3 6 8 番地 2		
2 略		2 略	
別表第 1 (第 3 条関係)		別表第 1 (第 3 条関係)	
名称	事業	名称	事業
略	1 地域農業の振興と福祉の増進のための使用に供すること。 2 都市と農村の交流促進のための使用に供すること。	略	1 地域農業の振興と福祉の増進のための使用に供すること。 2 都市と農村の交流促進のための使用に供すること。
岩峰地区農地流動化センター			
上幌向地区多目的研修会館			
幌向川右岸地区多目的研修会館			
大願地区多目的研修会館			
毛陽交流センター	1 地域農業の振興と福祉の増進のための使用に供すること。 2 都市と農村の交流促進のための使用に供すること。 3 毛陽地区の特産品の販売に関する	毛陽交流センター	1 地域農業の振興と福祉の増進のための使用に供すること。 2 都市と農村の交流促進のための使用に供すること。 3 毛陽地区の特産品の販売に関する



議案第 99 号 岩見沢市多目的研修集会施設等条例新旧対照表

No. 2

現		行	改		正	後	
		こと。			こと。		
略			略				
別表第 2（第 4 条関係）							
名称		開館時間	名称		開館時間	休館日	
略			略				
岩峰地区農地流動化センター		午前 9 時から 午後 5 時まで	岩峰地区農地流動化センター		午前 9 時から 午後 5 時まで	休日条例第 1 条第 1 項 第 3 号に掲げる日	
上幌向地区多目的研修会館		午前 9 時から 午後 5 時まで	幌向川右岸地区多目的研修会館		午前 9 時から 午後 5 時まで	休日条例第 1 条第 1 項 第 3 号に掲げる日	
幌向川右岸地区多目的研修会館		午前 9 時から 午後 5 時まで	毛陽交流センター		午前 9 時から 午後 5 時まで	休日条例第 1 条第 1 項 第 3 号に掲げる日	
大願地区多目的研修会館		午前 9 時から 午後 5 時まで	略				
毛陽交流センター		午前 9 時から 午後 5 時まで	略				
略			略				
別表第 3（第 7 条、第 1 8 条関係）							
鉄北地区多目的研修会館							
区分	単位	使用料		区分	単位	使用料	
		通常	冬期			通常	冬期
研修室	4 時間以内	2, 0 8 0 円	2, 5 0 0 円	研修室	4 時間以内	3, 1 2 0 円	3, 7 5 0 円

議案第 99 号 岩見沢市多目的研修集会施設等条例新旧対照表

No. 3

現 行				改 正 後			
	超過料金（1 時間）	<u>5 1 0 円</u>	<u>6 2 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>7 6 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>
和室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>	和室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>
洋室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>	洋室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>
多目的ホール	4 時間以内	<u>3, 1 3 0 円</u>	<u>3, 7 6 0 円</u>	多目的ホール	4 時間以内	<u>4, 6 9 0 円</u>	<u>5, 6 4 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>7 8 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>1, 1 7 0 円</u>	<u>1, 3 9 0 円</u>
農産物加工実 習室	4 時間以内	<u>2, 0 8 0 円</u>	<u>2, 5 0 0 円</u>	農産物加工実 習室	4 時間以内	<u>3, 1 2 0 円</u>	<u>3, 7 5 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>5 1 0 円</u>	<u>6 2 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>7 6 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>
備考 略				備考 略			
岩峰地区農地流動化センター				岩峰地区農地流動化センター			
区分	単位	使用料		区分	単位	使用料	
		通常	冬期			通常	冬期
会議室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>	会議室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>
研修室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>	研修室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>
多目的ホール	4 時間以内	<u>3, 1 3 0 円</u>	<u>3, 7 6 0 円</u>	多目的ホール	4 時間以内	<u>4, 6 9 0 円</u>	<u>5, 6 4 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>7 8 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>1, 1 7 0 円</u>	<u>1, 3 9 0 円</u>
ちゅう房	4 時間以内	<u>6 2 0 円</u>	<u>8 3 0 円</u>	ちゅう房	4 時間以内	<u>9 3 0 円</u>	<u>1, 2 4 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>1 5 0 円</u>	<u>2 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>2 2 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>

議案第 99 号 岩見沢市多目的研修集会施設等条例新旧対照表

No. 4

現		行		改		正		後	
備考 略				備考 略					
上幌向地区多目的研修会館									
区分	単位	使用料							
		通常	冬期						
研修室 1	4 時間以内	1, 0 3 0 円	1, 2 5 0 円						
	超過料金（1 時間）	2 5 0 円	3 0 0 円						
研修室 2	4 時間以内	1, 0 3 0 円	1, 2 5 0 円						
	超過料金（1 時間）	2 5 0 円	3 0 0 円						
多目的ホール	4 時間以内	3, 1 3 0 円	3, 7 6 0 円						
	超過料金（1 時間）	7 8 0 円	9 3 0 円						
ちゅう房	4 時間以内	6 2 0 円	8 3 0 円						
	超過料金（1 時間）	1 5 0 円	2 0 0 円						
備考 冬期料金は、1 1 月 1 日から翌年 4 月末日までとする。									
幌向川右岸地区多目的研修会館				幌向川右岸地区多目的研修会館					
区分	単位	使用料		区分	単位	使用料			
		通常	冬期			通常	冬期		
研修室 1	4 時間以内	1, 0 3 0 円	1, 2 5 0 円	研修室 1	4 時間以内	1, 5 4 0 円	1, 8 7 0 円		
	超過料金（1 時間）	2 5 0 円	3 0 0 円		超過料金（1 時間）	3 7 0 円	4 5 0 円		
研修室 2	4 時間以内	1, 0 3 0 円	1, 2 5 0 円	研修室 2	4 時間以内	1, 5 4 0 円	1, 8 7 0 円		
	超過料金（1 時間）	2 5 0 円	3 0 0 円		超過料金（1 時間）	3 7 0 円	4 5 0 円		
多目的ホール	4 時間以内	3, 1 3 0 円	3, 7 6 0 円	多目的ホール	4 時間以内	4, 6 9 0 円	5, 6 4 0 円		

議案第 99 号 岩見沢市多目的研修集会施設等条例新旧対照表

No.5

現 行				改 正 後			
	超過料金（1 時間）	<u>7 8 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>1, 1 7 0 円</u>	<u>1, 3 9 0 円</u>
ちゅう房	4 時間以内	<u>6 2 0 円</u>	<u>8 3 0 円</u>	ちゅう房	4 時間以内	<u>9 3 0 円</u>	<u>1, 2 4 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>1 5 0 円</u>	<u>2 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>2 2 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>
備考 略				備考 略			
大願地区多目的研修会館							
区分	単位	使用料		区分	単位	使用料	
		通常	冬期			通常	冬期
研修室 1	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>		4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>
研修室 2	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>		4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>
多目的ホール	4 時間以内	<u>3, 1 3 0 円</u>	<u>3, 7 6 0 円</u>		4 時間以内	<u>3, 7 0 円</u>	<u>4, 5 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>7 8 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>9 3 0 円</u>	<u>1, 0 8 0 円</u>
ちゅう房	4 時間以内	<u>6 2 0 円</u>	<u>8 3 0 円</u>		4 時間以内	<u>9 3 0 円</u>	<u>1, 2 4 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>1 5 0 円</u>	<u>2 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>2 2 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>
備考 冬期料金は 1 1 月 1 日から翌年 4 月末日までとする。							
毛陽交流センター				毛陽交流センター			
区分	単位	使用料		区分	単位	使用料	
		通常	冬期			通常	冬期
研修室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>	研修室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>

議案第 99 号 岩見沢市多目的研修集会施設等条例新旧対照表

No.6

現 行				改 正 後			
実習室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>	実習室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		加工体験室	4 時間以内	<u>3, 1 2 0 円</u>
加工体験室	4 時間以内	<u>2, 0 8 0 円</u>	<u>2, 5 0 0 円</u>			超過料金（1 時間）	<u>7 6 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>5 1 0 円</u>	<u>6 2 0 円</u>		直売所	1 月当たり	<u>5 6, 5 5 0 円</u>
備考 略 朝日コミュニティ交流センター				備考 略 朝日コミュニティ交流センター			
区分	単位	使用料		区分	単位	使用料	
		通常	冬期			通常	冬期
多目的ホール	4 時間以内	<u>3, 1 3 0 円</u>	<u>3, 7 6 0 円</u>	多目的ホール	4 時間以内	<u>4, 6 9 0 円</u>	<u>5, 6 4 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>7 8 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>		研修室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>
研修室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>			超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		ちゅう房	4 時間以内	<u>9 3 0 円</u>
ちゅう房	4 時間以内	<u>6 2 0 円</u>	<u>8 3 0 円</u>			超過料金（1 時間）	<u>2 2 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>1 5 0 円</u>	<u>2 0 0 円</u>		体験工房	4 時間以内	<u>2, 5 0 0 円</u>
体験工房	4 時間以内	<u>1, 6 7 0 円</u>	<u>2, 0 8 0 円</u>			超過料金（1 時間）	<u>6 1 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>4 1 0 円</u>	<u>5 1 0 円</u>		備考 略 御茶の水交流センター		
区分	単位	使用料		区分	単位	使用料	
		通常	冬期			通常	冬期

議案第 9 9 号 岩見沢市多目的研修集会施設等条例新旧対照表

No. 7

現 行				改 正 後			
会議室	4 時間以内	<u>2, 0 8 0 円</u>	<u>2, 9 3 0 円</u>	会議室	4 時間以内	<u>3, 1 2 0 円</u>	<u>4, 3 9 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>5 1 0 円</u>	<u>7 3 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>7 6 0 円</u>	<u>1, 0 9 0 円</u>
休憩室	4 時間以内	<u>1, 0 3 0 円</u>	<u>1, 2 5 0 円</u>	休憩室	4 時間以内	<u>1, 5 4 0 円</u>	<u>1, 8 7 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>2 5 0 円</u>	<u>3 0 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>3 7 0 円</u>	<u>4 5 0 円</u>
開発研究室	4 時間以内	<u>2, 0 8 0 円</u>	<u>2, 5 0 0 円</u>	開発研究室	4 時間以内	<u>3, 1 2 0 円</u>	<u>3, 7 5 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>5 1 0 円</u>	<u>6 2 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>7 6 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>
直売所	1 月当たり	<u>3 7, 7 0 0 円</u>		直売所	1 月当たり	<u>5 6, 5 5 0 円</u>	
加工所 1	4 時間以内	<u>2, 0 8 0 円</u>	<u>2, 5 0 0 円</u>	加工所 1	4 時間以内	<u>3, 1 2 0 円</u>	<u>3, 7 5 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>5 1 0 円</u>	<u>6 2 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>7 6 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>
加工所 2	4 時間以内	<u>2, 0 8 0 円</u>	<u>2, 5 0 0 円</u>	加工所 2	4 時間以内	<u>3, 1 2 0 円</u>	<u>3, 7 5 0 円</u>
	超過料金（1 時間）	<u>5 1 0 円</u>	<u>6 2 0 円</u>		超過料金（1 時間）	<u>7 6 0 円</u>	<u>9 3 0 円</u>
備考 略				備考 略			

議案第 1 0 0 号 いわみざわ北村温泉施設条例新旧対照表

No. 1

現 行		改 正 後	
別表（第5条、第11条関係）		別表（第5条、第11条関係）	
種別	使用料の範囲	種別	使用料の範囲
宿泊	1人当たり <u>5, 500円</u>	宿泊	1人当たり <u>6, 820円</u>
入館	入浴を伴うものに限る。	入館	1人当たり <u>800円</u>
	岩盤浴を伴うものに限る。		1人当たり <u>1, 260円</u>
和室（1室当たり）	3時間4人までにつき <u>3, 130円</u> （1時間増すごとに <u>1, 030円</u> 、1人増すごとに <u>510円</u> ）	和室（1室当たり）	3時間4人までにつき <u>3, 840円</u> （1時間増すごとに <u>1, 260円</u> 、1人増すごとに <u>620円</u> ）
しらかば・かえで・からまつ・こぶし	3時間6人までにつき <u>2, 080円</u> （1時間増すごとに <u>300円</u> 、1人増すごとに <u>100円</u> ）	しらかば・かえで・からまつ・こぶし	3時間6人までにつき <u>2, 550円</u> （1時間増すごとに <u>360円</u> 、1人増すごとに <u>120円</u> ）
やすらぎ（大人のみ、1人当たり）	3時間につき <u>510円</u> （1時間増すごとに <u>150円</u> ）	やすらぎ（大人のみ、1人当たり）	3時間につき <u>620円</u> （1時間増すごとに <u>180円</u> ）
備考		備考	
1～5 略		1～5 略	
6 宿泊室を1人で使用する場合は、 <u>1, 100円</u> 以内の使用料を加算する。		6 宿泊室を1人で使用する場合は、 <u>1, 430円</u> 以内の使用料を加算する。	

議案第 1 0 1 号 岩見沢市イベントホール条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後				
別表（第7条、第15条関係）								
施設使用料								
室名	区分	一般使用		営利又は営業目的		単位	使用料	冬期加算料
				使用				
		1日につき	1時間につき	1日に つき	1時間に つき			
イベントホール		145,200円	12,100円	一般使用の金額の				
		59,480円	4,950円	10割増しとす				
会議室	第1	3,390円	270円	る。				
		750円	60円					
	第2	6,660円	550円					
		1,370円	110円					
	第3	6,900円	570円					
		1,370円	110円					
和室	第1	3,630円	290円					
		750円	60円					
	第2	3,630円	290円					
		750円	60円					
講習室		8,290円	680円					
		1,620円	130円					

別表（第7条、第15条関係）							
施設使用料							
室名	単位	使用料		冬期加算料			
		市民	市民以外				
イベントホール	1時間	15,100円	18,900円	6,800円			
体育室	1時間	820円	1,030円	250円			
会議室第1	1時間	360円		80円			
会議室第2	1時間	700円		150円			
会議室第3	1時間	740円		150円			
和室第1	1時間	390円		80円			
和室第2	1時間	390円		80円			



議案第 101 号 岩見沢市イベントホール条例新旧対照表

No. 2

現 行				改 正 後			
体育室		5, 270円		430円			
		2, 630円		210円			
多目的室		13, 820円		1, 150円			
		3, 010円		240円			
イ ベ ン ト	個 人 使 用	小・中 学 生	3時間につき150円（冬期加算料50円）				
ホ ー ル・体 育 人 室		高 校 生	3時間につき200円（冬期加算料50円）				
		一 般	3時間につき300円（冬期加算料50円）				
備考							
1 使用料の上欄は、室の使用料とし、11月1日から翌年4月末日までの期間は、暖房料として下欄の金額を加算する。							
2 使用者が、許可された使用時間を超えて引き続き使用する場合は、運営に支障がないと認める場合に限り、閉館時間を超えない範囲で使用時間の延長をすることができる。この場合の使用料は、延長時間の1時間当たり（1時間未満は、1時間とする。）の使用料を加算する。							
3 使用時間には、練習、準備、整理等に要する時間を含める。							

講習室		1時間		870円		180円	
多目的室		1時間		1, 600円		330円	
備考							
1 11月1日から翌年4月末日までの期間の使用料は、室の使用料に冬期加算料の欄の金額を加算した額とする。							
2 営利又は営業目的使用の場合は、使用料（イベントホール及び体育室は、市民以外の使用料）の金額の10割増しとする。							
3 使用者が、許可された使用時間を超えて引き続き使用する場合は、運営に支障がないと認める場合に限り、使用時間の延長をすることができる。この場合の使用料は、延長時間の1時間当たり（1時間未満は、1時間とする。）の使用料を加算する。							
4 使用時間には、練習、準備、整理等に要する時間を含める。							

## 議案第 102 号 岩見沢市公設卸売市場条例新旧対照表

No. 1

現	行	改	正	後
(取扱品目)		(取扱品目)		
第6条 略		第6条 略		
		<u>2 市長は、前項の取扱品目に食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律（平成3年法律第59号。以下「食品等持続的供給法」という。）第42条第1項に規定する指定飲食料品等が含まれるときは、インターネットの利用その他の適切な方法により、当該指定飲食料品等を公表するものとする。ただし、市場において取扱予定がないものを除く。</u>		
(卸売予定数量等の公表)		(卸売予定数量等の公表)		
第47条 略		第47条 略		
2及び3 略		2及び3 略		
		<u>4 市長は、次に掲げる事項をインターネットの利用その他の適切な方法により公表するものとする。</u>		
		<u>(1) 第6条第2項に基づき公表された指定飲食料品等に係る食品等持続的供給法第42条第1項第1号に規定する指標</u>		
		<u>(2) 食品等持続的供給法第36条各号に規定する措置の内容</u>		

議案第 1 0 3 号 岩見沢市ワークプラザ条例新旧対照表

No. 1

現 行		改 正 後	
別表（第5条、第7条、第19条関係）		別表（第5条、第7条、第19条関係）	
区分	使用料（1時間につき）	区分	使用料（1時間につき）
講習室	<u>2 5 0 円</u>	講習室	<u>5 0 0 円</u>
作業室 1	<u>2 5 0 円</u>	作業室 1	<u>5 0 0 円</u>
作業室 2	<u>1 4 0 円</u>	作業室 2	<u>2 8 0 円</u>
研修室 1	<u>8 4 0 円</u>	研修室 1	<u>1, 6 8 0 円</u>
研修室 2	<u>3 9 0 円</u>	研修室 2	<u>7 8 0 円</u>
備考 略		備考 略	

議案第 1 0 4 号 岩見沢市農業委員会委員の定数に関する条例新旧対照表

No. 1

現	改 正 後
<p>(定数)</p> <p>第 2 条 委員会委員の定数は、<u>3 6 人</u>とする。</p>	<p>(定数)</p> <p>第 2 条 委員会委員の定数は、<u>3 3 人</u>とする。</p>

議案第 1 0 5 号 岩見沢市農産加工施設条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後					
別表（第 7 条、第 1 9 条関係）				別表（第 7 条、第 1 9 条関係）					
施設	区分		単位	使用料	施設	区分		単位	使用料
毛陽農産加工 実習体験セン ター	ジュース 加工	市民	1 人 1 回に つき	<u>2 5 0 円</u>	毛陽農産加工 実習体験セン ター	ジュース 加工	市民	1 人 1 回に つき	<u>3 7 0 円</u>
		市内の小学 校、中学校及 び義務教育 学校の教師 の引率する 学校教育授 業並びに保 育所の保育 士及び幼稚 園の教師の 引率する保 育事業の場 合		<u>2 0 0 円</u>			市内の小学 校、中学校及 び義務教育 学校の教師 の引率する 学校教育授 業並びに保 育所の保育 士及び幼稚 園の教師の 引率する保 育事業の場 合		<u>3 0 0 円</u>
		市民以外		<u>3 0 0 円</u>			市民以外		<u>4 5 0 円</u>
北村農産加工 研究センター	4 時間以上		1 団 体 に つ き	<u>2, 0 8 0 円</u>	北村農産加工 研究センター	4 時間以上		1 団 体 に つ き	<u>3, 1 2 0 円</u>
	4 時間未満			<u>1, 0 3 0 円</u>		4 時間未満			<u>1, 5 4 0 円</u>
備考 略				備考 略					

議案第 1 0 6 号 岩見沢市農業技術情報施設条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後			
(開館時間等)				(開館時間等)			
第4条 土壌分析施設の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。				第4条 土壌分析施設の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が必要と認めるときは、これを変更することができる。			
(1) 開館時間 午前9時から午後 <u>5時</u> まで				(1) 開館時間 午前9時から午後 <u>3時</u> まで			
(2) 略				(2) 略			
別表第2 (第6条関係)				別表第2 (第6条関係)			
土壌分析手数料		手数料の金額 (1件につき)		土壌分析手数料		手数料の金額 (1件につき)	
		市民	市民以外			市民	市民以外
化 学 性	(1) 一般分析(4項目診断)	<u>2 1 0 円</u>	<u>6 6 0 円</u>	化 学 性	(1) 一般分析(4項目診断)	<u>2 6 0 円</u>	<u>7 9 0 円</u>
	(2) 総合分析(16項目診断)	<u>8 3 0 円</u>	<u>2, 6 7 0 円</u>		(2) 総合分析(16項目診断)	<u>1, 0 6 0 円</u>	<u>3, 2 0 0 円</u>
物理性分析		<u>3, 0 0 0 円</u>	<u>9, 0 0 0 円</u>	物理性分析		<u>3, 6 0 0 円</u>	<u>1 0, 8 0 0 円</u>
備考 略				備考 略			

議案第 1 0 7 号 岩見沢市農村体験公園条例新旧対照表

No. 1

現 行					改 正 後						
別表（第6条関係） 1 市民農園使用料					別表（第6条関係） 1 市民農園使用料						
施設区分	使用基準		使用料 (年間)	使用期間	備考	施設区分	使用基準		使用料 (年間)	使用期間	備考
滞在型市民農園	1区画	ラウベ	251,300円	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	ラウベ使用に係る光熱水費及び電話料として実費を徴収する。	滞在型市民農園	1区画	ラウベ	300,000円	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	ラウベ使用に係る光熱水費及び電話料として実費を徴収する。
		農園		毎年4月1日から11月30日まで				農園		毎年4月1日から11月30日まで	
日帰り型市民農園	1区画		1平方メートル当たり 200円	毎年4月1日から11月30日まで		日帰り型市民農園	1区画		1平方メートル当たり 300円	毎年4月1日から11月30日まで	
注 略 2 施設使用料					注 略 2 施設使用料						
施設区分		使用基準		使用料		施設区分		使用基準		使用料	
体験農園		1区画		1,560円		体験農園		1区画		2,340円	
施設区分		使用基準		使用料		施設区分		使用基準		使用料	
農村場	パークゴルフ	プレー代	小・中学生	1人	50円	農村場	パークゴルフ	プレー代	小・中学生	1人	50円
			一般	1人	150円				一般	1人	150円

議案第 107 号 岩見沢市農村体験公園条例新旧対照表

No. 2

現 行							改 正 後						
公		用具代	クラブ	1 本	1 5 0 円	1 日 当 た り	公		用具代	クラブ	1 本	1 5 0 円	1 日 当 た り
園			ボール	1 個	5 0 円		園			ボール	1 個	5 0 円	
注 略							注 略						
施設	使用料	午前	午後	夜間	1 日	備考	施設	使用料	午前	午後	夜間	1 日	備考
区分	等 の 種 別	9 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	1 7 : 3 0 ~ 2 2 : 0 0	9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0		区分	等 の 種 別	9 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	1 7 : 3 0 ~ 2 2 : 0 0	9 : 0 0 ~ 2 2 : 0 0	
土 農 里 産 夢 加 館 工 室	使用料	5 1 0 円	5 1 0 円	7 3 0 円	1, 5 6 0 円	使用料、	土 農 里 産 夢 加 館 工 室	使用料	7 6 0 円	7 6 0 円	1, 0 9 0 円	2, 3 4 0 円	使用料、
	暖房料	1 5 0 円	1 5 0 円	2 0 0 円	5 1 0 円	暖 房 料		暖房料	2 2 0 円	2 2 0 円	3 0 0 円	7 6 0 円	暖 房 料
						と も に							と も に
						1 室 当							1 室 当
						た り							た り
調 理 実 習 室	使用料	1 0 0 円	1 0 0 円	1 0 0 円	2 0 0 円	使 用 料	調 理 実 習 室	使用料	1 5 0 円	1 5 0 円	1 5 0 円	3 0 0 円	使 用 料
	暖房料	1 0 0 円	1 0 0 円	1 5 0 円	3 6 0 円	は 1 人 当 たり、 暖 房 料 は 1 室 当 たり		暖房料	1 5 0 円	1 5 0 円	2 2 0 円	5 4 0 円	は 1 人 当 たり、 暖 房 料 は 1 室 当 たり
工 芸 加 工	使用料	1 0 0 円	1 0 0 円	1 0 0 円	2 0 0 円	使 用 料	工 芸 加 工	使用料	1 5 0 円	1 5 0 円	1 5 0 円	3 0 0 円	使 用 料
	暖房料	1 0 0 円	1 0 0 円	1 5 0 円	3 6 0 円	は 1 人 当 たり、 暖 房 料		暖房料	1 5 0 円	1 5 0 円	2 2 0 円	5 4 0 円	は 1 人 当 たり、 暖 房 料



議案第 107 号 岩見沢市農村体験公園条例新旧対照表

No.3

現 行								改 正 後							
	室						は 1 室 当たり		室						は 1 室 当たり
	会議室	使用料	1, 0 3 0 円	1, 0 3 0 円	1, 5 6 0 円	3, 1 3 0 円	使用料、		会議室	使用料	1, 5 4 0 円	1, 5 4 0 円	2, 3 4 0 円	4, 6 9 0 円	使用料、
		暖房料	3 0 0 円	3 0 0 円	4 1 0 円	1, 0 3 0 円	暖 房 料 と も に 1 室 当 たり			暖房料	4 5 0 円	4 5 0 円	6 1 0 円	1, 5 4 0 円	暖 房 料 と も に 1 室 当 たり
	シ ャ ワ ー 室	1 回 2 0 0 円					1 回 の 使 用 時 間 は 1 5 分 以 内		シ ャ ワ ー 室	1 回 3 0 0 円					1 回 の 使 用 時 間 は 1 5 分 以 内
注 略								注 略							
3 設備使用料								3 設備使用料							
施設区分		設備	使用料			備考		施設区分		設備	使用料			備考	
			午前 9 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	午後 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	夜間 1 7 : 3 0 ~ 2 2 : 0 0						午前 9 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	午後 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	夜間 1 7 : 3 0 ~ 2 2 : 0 0		
土 里 夢	農産加工室	ジュース	2, 5 0 0 円	2, 5 0 0 円	3, 7 6 0 円	販売用		土 里 夢	農産加工室	ジュース	3, 7 5 0 円	3, 7 5 0 円	5, 6 4 0 円	販売用	
		等製造実	1, 0 3 0 円	1, 0 3 0 円	1, 5 6 0 円	自家用				等製造実	1, 5 4 0 円	1, 5 4 0 円	2, 3 4 0 円	自家用	
		習設備								習設備					

議案第 1 0 7 号 岩見沢市農村体験公園条例新旧対照表

No. 4

現 行					改 正 後						
館	調理実習室	味噌製造	1回	1,670円	加工量15キ	館	調理実習室	味噌製造	1回	2,500円	加工量15キ
		実習設備			ログラムまで			実習設備			ログラムまで
		(麴から	1回	2,300円	加工量30キ			(麴から	1回	3,450円	加工量30キ
		製造する			ログラムまで			製造する			ログラムまで
		場合)						場合)			
		味噌製造	1回	830円	加工量15キ			味噌製造	1回	1,240円	加工量15キ
		実習設備			ログラムまで			実習設備			ログラムまで
	(麴持込	1回	1,460円	加工量30キ	(麴持込		1回	2,190円	加工量30キ		
	みの場合)			ログラムまで	みの場合)				ログラムまで		
	麴製造実	習設備	1回	830円	加工量15キ		麴製造実	習設備	1回	1,240円	加工量15キ
1回			1,460円	加工量30キ	1回	2,190円			加工量30キ		
		豆腐、漬物	200円	200円	300円			豆腐、漬物	300円	300円	450円
		等製造実						等製造実			
		習設備						習設備			
	工芸加工室	ドライフ	1回	100円	乾燥機1台当		工芸加工室	ドライフ	1回	150円	乾燥機1台当
		ラワー加			たり			ラワー加			たり
		工設備						工設備			

議案第 1 0 8 号 岩見沢市自転車等の放置の防止に関する条例新旧対照表

No. 1

現 行	改 正 後
<p>(費用の徴収)</p> <p>第 1 3 条 市長は、前条第 1 項の規定により保管した自転等又は前条第 3 項の規定により保管した自転車等の売却代金を返還するときは、当該自転車等の撤去、保管、売却等に要した費用として、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額を当該自転車等の利用者等から徴収するものとする。</p> <p>(1) 自転車 1 台につき <u>1, 0 1 0 円</u></p> <p>(2) 原動機付自転車 1 台につき <u>2, 0 3 0 円</u></p> <p>2 略</p>	<p>(費用の徴収)</p> <p>第 1 3 条 市長は、前条第 1 項の規定により保管した自転車等又は前条第 3 項の規定により保管した自転車等の売却代金を返還するときは、当該自転車等の撤去、保管、売却等に要した費用として、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額を当該自転車等の利用者等から徴収するものとする。</p> <p>(1) 自転車 1 台につき <u>1, 2 1 0 円</u></p> <p>(2) 原動機付自転車 1 台につき <u>2, 4 3 0 円</u></p> <p>2 略</p>

議案第 1 0 9 号 岩見沢市自転車等駐車場条例新旧対照表

No. 1

現 行				改 正 後			
別表第 2（第 6 条、第 1 7 条関係）				別表第 2（第 6 条、第 1 7 条関係）			
区分	単位	一般	学生	区分	単位	一般	学生
シーズン	1 台につき	<u>5, 2 3 0 円</u>	<u>3, 4 5 0 円</u>	シーズン	1 台につき	<u>8, 6 2 0 円</u>	<u>5, 1 7 0 円</u>
冬期保管	1 台につき	<u>1, 6 7 0 円</u>		冬期保管	1 台につき	<u>2, 7 5 0 円</u>	
冬期保管（区分のシーズンと同時に申請した場合）	1 台につき	<u>8 3 0 円</u>		冬期保管（区分のシーズンと同時に申請した場合）	1 台につき	<u>1, 3 6 0 円</u>	
備考 略				備考 略			

